

◆みやぎ生協ボランティアセンターの2014年度の活動から

東日本大震災から4年が過ぎました。みやぎ生協では、2011年5月以降、被災された方々に寄り添う様々なボランティア活動を、全国の生協や他団体の皆様に支えられて継続して取り組み、大きな活動になっています。



一方で、「これまでお茶のみしていた知人が引っ越したので、紹介されて参加した」と初めて参加される方や、「前より仮設住宅が寂しくなってきたので続けて欲しい」との声が寄せられています。ますます待たれる活動になっており、今後も活動を継続していきます。

みやぎ生協ボランティアセンター活動数(2015年4月16日現在)

	2014年度		これまでの累計	
	活動全体	サロン活動	活動全体	サロン活動
開催回数(回)	697	518	2,579	1,852
ボランティアのべ数(人)	5,276	3,626	20,368	15,136
参加者のべ数(人)	17,873	11,135	91,900	51,592

中心となるサロン活動(ふれあい喫茶・ふれあい喫茶&子育てひろば)は、2013年度と比較すると全体的に減少しました。(前年比：回数95.7%、ボランティア数90.1%、参加者数82.0%)

参加者の減少からは、被災された方々がお仕事を得られたり、自力再建や、災害公営住宅の建設がすすんで仮設住宅からの退去が増えるなど、少しずつ生活再建に向かっている様子がうかがえます。

蛇田店(石巻市)のオープンカフェでは「仕事が決まったので来週から来れませんが、今までありがとうございました」と丁寧なご挨拶をいただいたこともありました。

◆全国の生協から寄せられている支援の一部をご紹介します



コープこうべの皆さんからの「たこ焼きセット」で、名取市・美田園第一仮設住宅集会所で、たこ焼きパーティーを開催。「忘れずに支援頂き、絆の深さに感謝している」との声が寄せられました。

共立社新庄生協の皆さんからの募金を活用し石巻・東松島のふれあい喫茶でひなあられを配布。「大人だけの家族になり、ひなあられを買うことも無くなっていた。久しぶりでおいしい」と感謝の声をいただきました。



コープぎふの皆さんからの「大山せんべい」に、お店の方からの丁寧なお手紙が添えられていました。気仙沼や多賀城の仮設住宅ふれあい喫茶でサポーターが代読すると、「今でも遠くから想いを寄せて頂いてうれしいね」と話されていました。

◆復興住宅お花見会



4/12(日)、若林西復興公営住宅お花見会のお手伝いで、コープフードバンク提供の飲み物や炊き込みご飯、たこ焼きなどをふるまいました。約80名が参加して、お花見日和の暖かな時間を過ごしました。

◆みなし仮設住宅の方のリフレッシュ



4/23(木)、仙台市若林区荒浜のみなし仮設住宅の方々のリフレッシュに、お花見バスツアーを開催。「みちのく杜の湖畔公園」を散策した後、「ばびハウス」の昼食や革製品の手作り体験など充実した癒しの一日になりました。

ボランティア活動予定の一覧は、ホームページに掲載しますのでご覧ください。

(みやぎ生協ホームページ→くらしのサポート→東日本大震災からの復旧・復興をめざして→ボランティアセンター)

みやぎ生協ボラセンニュース、次回の発行は6月1日の予定です。